

日本原子力学会 原子力安全部会
福島第一原子力発電所事故
に関するセミナーシリーズ
第2回

2012年5月8日
(於)東京、東京大学工学部11号館

セミナーの趣旨

- ・ 福島事故に関し、「何が悪かったか、今後何をすべきか」について議論する。原子力学会はわが国のアカデミアを構成する組織であることを踏まえ、学会としてあるいは原子力安全部会として何をすべきかの観点を重視する。
- ・ 原子力は多くの技術の総合であり、福島事故を含め、事故は技術分野の隙間で起きることが多い。今回のセミナーは、事故そのものの解説ではなく、事故によって示された課題を踏まえて今後より安全な原子力を確立していくために、技術分野間あるいは産官学間の相互理解を進めることを目的とする

第1回セミナー

- 日時： 平成24年2月17日
- 場所： 東京大学工学部11号館講堂
- 参加者： 114名
- 講演
 1. 安全設計についての問題
 2. シビアアクシデント対策についての問題
 3. 原子力防災についての問題
 4. PSA、運転経験、安全研究についての問題
 5. その他の諸問題
- 配布資料及び議事メモを安全部会HPに掲載

第2回以降のセミナーの開催趣旨

- 第1回セミナーでは、福島事故で明らかになった数多くの課題について包括的な議論。
- 第2回以降は、各回ごとに検討課題を限定して、より深みのある議論を目指す。
- ただし、より具体的イメージを持つための議論にするため、各回ごとに、特定の原子炉あるいは使用済み燃料プール(SFP)で実際に起きた事象を参照しつつ議論。
- 複数の炉にまたがる問題、たとえば、アクシデントマネジメント(AM)や水位計の問題などは、個別にも、まとめても、議論。
- 議論の結果は産業界や規制庁への「提言」としてまとめる。

本日のプログラム

事故の概要解説 (13:40-15:40)

- 「福島第一原子力発電所事故について(1号機)」
(宮田浩一(原子力安全部会幹事、東京電力(株)))
- 「福島第一原子力発電所1号機の安全設計と事故の教訓及び対策」
(守屋公三明(日立GEニュークリア(株)))
- 「安全確保対策とストレステストについて」
(浦田茂(原子力安全部会幹事、関西電力(株)))

(休憩)

セミナー参加者による総合討論 (16:00-17:25)

司会： 関村直人(原子力安全部会副部会長、東京大学))

問題認識と論点解説 (阿部清治(原子力安全部会部会長、JNES))

各回のセミナーの開催予定

- 第2回(本日): 1号機の原子炉に関する問題
- 第3回(6月22日): 2号機、3号機の原子炉に関する問題(水位計、AMなど)
- 第4回(8月10日): 4号機のSFPと防災に関する問題
- 学会秋の大会(9月19日): セミナーの報告
- 必要に応じ、年度後半もセミナーを継続
- 第5回(日時未定): 福島第二、女川、東海第二の原子炉に関する問題
- 年度末に部会としての報告書